Short-coupled variant of torsade de pointesに対するベラパミルの有効性

藤居祐介[1]　伊藤英樹[1]　小澤友哉[1]　服部哲久[1]
芦原貴司[1]　八木典章[1]　松本祐一[1]　木村紘美[1]
酒井　宏[1]　山本　孝[1]　林　秀樹[1]　大野聖子[1]
中川義久[2]　山本　聖[3]　松井由美恵[3]　堀江　稔[1]

【背景】Short-coupled variant of torsade de pointes（scTdP）は特発性心室細動のひとつで，著しく連結期の短い心室期外収縮（< 300 msec）から多形性心室頻拍が出現する．本疾患は比較的若年者に多く見られ，通常器質的な心疾患は見られず，安静時12誘導心電図の所見は正常であることが多い．【対象と方法】scTdPと診断した５例（37 ± ８歳，男性２例）で，QTcは429 ± 30 msec，全症例にJ波やBrugada心電図は認めなかった．また，心エコーや心臓カテーテル検査で，器質的な異常は認めなかった．薬物による再発予防を検討した．【結果】心室期外収縮の連結期は284 ± 17 msecと非常に短く，QRS幅は132 ± 11 msecと比較的狭かった．心室期外収縮の波形は５症例中の４症例で左脚ブロック，左軸偏位を示した．全症例に植込み型除細動器植込みが行われ，２症例でベラパミルによる二次予防により再発は認めていない．特に１例ではelectrical stormを抑制しえた．そのほかの３例は無投薬で経過観察中であったが，うち１例で心室細動の再発を認めた．【結語】scTdPと診断しえた５症例を経験した．ベラパミルの投与はscTdPの発症を抑制することが期待された．

Keywords
- 特発性心室細動
- Short-coupled variant of torsade de pointes
- ベラパミル

1滋賀医科大学呼吸循環器内科
（〒520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町）
2天理よろず相談所病院循環器内科
3済生会泉尾病院循環器内科

Efficacy of Verapamil for Short-Coupled Variant of Torsade de Pointes

Yusuke Fujii, Hideki Itoh, Tomoya Ozawa, Tetsuhisa Hattori, Takashi Ashihara, Noriaki Yagi, Yuichi Matsumoto, Hiromi Kimura, Hiroshi Sakai, Takashi Yamamoto, Hideki Hayashi, Seiko Ohno, Yoshihisa Nakagawa, Hijiri Yamamoto, Yumie Matsui, Minoru Horie